

第 32 回定時株主総会 質疑応答概要

(2021 年 8 月 30 日開催)

(質問者 1)

Q.子会社ウィットスタジオの赤字および債務超過をきちんと IR 資料でご説明いただき、対応策まで記載いただいたことは非常に良かったと考えている。透明性がある情報開示は投資家にとっては投資するうえで重要である。テコ入れを行っていただき中長期的な成長を目指していただきたい。

昨年の株主総会で意見として発言させていただいた中長期的な作品群へ注力という点であるが、いまだにその傾向が見えてこない。個別でパラパラと IR で多岐にわたる作品群の制作が発表されており、収益性としては疑問符が付くように思われる作品も見受けられる。

柱となる中長期的な作品群に集中投資して長期的な成長を目指してほしい。

中長期的な作品への集中投資で一時的に利益が下がることは投資家としては全く問題ない。ぜひ戦略的な作品へ投資を集中していただきたい。

(回答 1 株式会社 IG ポート 執行役員 郡司幹雄)

A.昨年も同じご指摘いただいた。貴重なご意見ありがとうございます。

現在中長期的な作品への注力という方向性は議論されている。ただし、現在の最大の経営課題は赤字子会社の建て直しとなっている。これは喫緊の課題であり、まずはこの課題を解決してからグループ全体の中長期戦略の策定という流れになると考えている。

ウィットスタジオの再建が急務であるが、同社においてはすでに中長期的なシリーズへの受注の注力は開始している。これら作品名は情報解禁時期になれば開示されていくので、ぜひともお待ちいただきたい。

(回答 1 株式会社ウィットスタジオ 代表取締役 社長兼株式会社プロダクション・アイジー 副社長 和田丈嗣)

A.ウィットスタジオおよびプロダクション・アイジーの作品は、海外市場に向いているという強みがあると考えている。海外の配信プラットフォームとの戦略的な協業を今後進めていく予定である。中長期戦略に関しては議論を進めており、決定次第開示できるように進めていきたい。

(質問者 2)

Q.バランスシートに45億の現預金が寝てしまっている。これは資本効率として非常に悪い。当社が独自に算出した当社の資本コストは7.4%となる。これを上回る ROE を出さない限り株価は上がらないと思われる。企業が持続的な成長を遂げ、企業価値を高めていくための提言を行った

“伊藤レポート”でも ROE の必要水準は8%となっている。コーポレートガバナンスコードでも資本効率への経営陣のコミットメントは求められている。この点についてお考えをお聞かせいただきたい。

(回答 2 株式会社 IG ポート 執行役員 郡司幹雄)

A. 連結上のバランスシートでは非常に多くの現預金を抱えてしまっているように見えるが、当社は連結子会社6社を擁し、その現預金額は各社かなり差がある状況である。このため手元の流動性の確保は非常に重要でありご理解いただきたい。

資本効率の観点のご指摘は重く受け止める。株式市場で上場している限り 8%以上の ROE が求められる。この点は留意していきたい。

(回答 2 和田)

A. 中長期的には海外プラットフォームとの協業を重視しつつ、世界的に通用する IP を開発していくことであると考えている。

引き続き株主の皆様には応援いただきたい。

(質問者 3)

Q. これまでに当社グループの制作したアニメに参加した有名クリエイターと再度監督作品を制作できないか？

(回答 3 株式会社 IG ポート 代表取締役社長 石川光久)

A. 作品における監督の選考については、監督ありきで考える場合と、作品ありきで考える場合の2パターンある。基本的には、作品ごとに個別に判断するものであると考えている。

(質問者 4)

Q. もっと話題になっている原作作品をアニメ化できないか？またバトル系のマンガをアニメ化できないか？また、シグナル・エムディ制作『プラチナエンド』のアニメ化を決定した経緯に関して教えていただきたい。

(回答 4 和田)

A. まだ発表できていないが面白い原作作品のアニメ化 はいくつか進行している。株主の皆様におかれましてはぜひ情報解禁をお待ちいただきたい。

(回答 4 株式会社シグナル・エムディ 代表取締役社長 森下勝司)

A. 『プラチナエンド』に関しては製作委員会の方で原作許諾を獲得して当社に制作発注するという流れになっており、映像化を決定するのは製作委員会となる。その映像化における意志決定過

程に関しては具体的に聞き及んでいない状況であるため、回答は差し控えさせていただきたい。

(質問者 5)

Q.当社は株式会社タツノコプロダクションの株式を保有している。タツノコプロのキャラクターを用いてアニメ制作していくことはできないのか？またタツノコプロと共同制作することなどは可能性としてあるか？

(回答 5 石川)

A.可能性としてはあり得る。貴重なご意見ありがとうございます。

(ご意見 6)

Q.ROE の目標値に関して、これを経営として掲げる必要があると思われるが、この点に関しての考えをお聞かせいただきたい。

(回答 6 郡司)

A.ROE の目標値は掲げていきたいと考えている。ただし、喫緊の課題は赤字子会社の建て直しである。前期決算は過去最高益であった。しかし赤字であった子会社が黒字になっていればもっと大きな利益を出せていたはずで、ROE はもっと高くなったということである。赤字子会社の再建を最優先に行わなければいけないのはこのためであり、まずはこの点に注力していく予定である。

(質問者 7)

Q.出版事業の配信サイトである“マグコミ”と“マグカン”は配信する作品数に大きな差がある。“マグコミ”は適正であると思われるが“マグカン”は少なすぎる印象である。配信作品数を増やす予定はあるのかお聞かせいただきたい。

(回答 7 株式会社マッグガーデン 取締役社長 飯田義弘)

A.“マグカン”については、関西在住の作家さん並びに近県にいらっしゃる作家さんに作品を提供いただき、地方との連携を強化するためのプラットフォームである。今後タイトル数を増やし、より良いサービスにしたいと考えている。

マグコミについても、作品の入れ替えを含めラインナップをより強化していきたい。

以 上